



いなほ

2月号

令和8年1月30日

日野市立豊田小学校

校長 東口 孝正

冬のひだまりで育む力 ～春への準備期間・心の栄養を届けよう～

副校長 樋口 智子

厳しい寒さの中にも、梅の開花の知らせが届くなど、ふとした瞬間に春の足音を感じられる頃となりました。保護者や地域の皆様におかれましては、子供たちの健やかな成長を願い、温かいまなざしで本校の教育活動を見守っていただきまして、誠にありがとうございます。

さて、3学期は、子供たちが一つ上のステージへと進む準備期間として、大切な時期となります。学習面の準備に加えて大事になるのは、子供たちが来春への活力を蓄えることです。本校の教職員は、この3学期を「学習のまとめの期間」として捉えるだけでなく、「自尊感情を高め、自信を育む絶好の機会」と位置付けています。現在行っている「学習発表会」への準備をはじめとする数々の教育活動を通して、子供たちは自分の役割を果たし、認められる経験を積み重ねています。この精神的な充足こそが、新しい学年へ向かう意欲とエネルギーの源となります。人は、結果の良し悪しやできていない点に目が行きがちと言われています。その見方を変え、子供たちが意欲をもって取り組む過程を認め、「あなたの頑張りをしているよ」というメッセージを積極的に伝えることが、子供たちにとって何よりもの心の栄養となります。

保護者の皆様におかれましては、学習発表会当日の成果だけでなく、ぜひこれまでの子供たちの取り組みにも目を向けていただき、積極的に子供たちを認めるお声掛けをしていただけると幸いです。この冬の間に蓄えた確かな力が、必ずや春の芽吹きとなって花開くと信じています。引き続き、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

保護者の学校評価アンケート集計結果

保護者の皆様、先日は、アンケートへのご回答、誠にありがとうございました。アンケートでは「地域資源の活用」や「分かりやすい授業」に高い評価をいただきました。また、学校運営協議会では委員の皆様より「道徳やふれあい月間の成果が子供たちの実践に表れている」との評価を頂戴しました。一方、「高学年が悩みや不安を周囲に相談しにくい状況」への懸念や「早期の関係機関との連携」について貴重な提言を頂戴しました。これらの結果を受け、今後も児童との面談を大切にしながら、家庭や地域、専門機関と手を取り合い、一人ひとりに寄り添った指導・支援の充実に努めてまいります。

よりよい豊田小をめざして 保護者（学校全体）

